

無石綿

# NSドカモルハードQ

欠損部補修・断面修復用速硬プレミックスモルタル  
(再乳化形粉末樹脂混入タイプ)

NSドカモルハードQは、速硬性を有し建築・土木コンクリート構造物の断面修復材に要求される性能の、接着耐久性・強度発現性に優れ、厚付け性等、抜群のこて塗り作業性を有するように設計された高強度ポリマーセメント系断面修復材です。また、壁・床面の補修用途にも使用できます。

## 特長

- 短時間で硬化し夏季約6時間、冬季は12時間で、水系仕上材の施工が可能です。
- ポリマーセメント系のため有機溶剤を含まず、作業者の健康や環境に優しい製品です。
- こて塗り作業性に優れ、「だれ」、「すれ」を最小限に抑え、一度に厚さ5~60mmの欠損部補修、厚さ5~15mmの壁面塗り補修、厚さ5~40mmの床面塗り補修に使用できます。
- 再乳化形粉末樹脂の混入により高い接着性と耐久性を示します。
- 一材化製品のため、缶・ボトル等の廃材が発生しません。
- 工場生産による均一配合のため、水練りだけで使用でき、品質管理が容易です。

## 標準仕様

荷姿	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準調合	塗厚	標準施工面積
20kg/箱 (10kg×2 袋入り)	ジャンカの補修、 鉄筋腐食による 欠損部の断面修復、 モルタルの欠け部分、 壁・床面の補修	コンクリート、 モルタル、 PC板	仕上塗材、 防滑塩ビシート、 長尺シート、 陶磁器質タイル、 防水材、塗床等	清水 1.5~1.7kg/袋	5~60mm*	約0.2m <sup>2</sup> /10kg袋 (30mm厚)

注)\*：適用部位毎の標準塗厚は、NSドカモルハードQの施工マニュアルを必ず参照してください。

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。  
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

練り混ぜ時間が短い場合、強度低下の要因になりますので、練り混ぜ時間は3分を確保してください。  
水振りをしたのこて押えは、モルタルの表面強度を低下させる要因となりますので、NSハイフレックス HF-1000の3~4倍液を散布してください。

## 性能

試験項目	試験結果	建築改修工事監理指針「断面修復用ポリマーセメントモルタル」の品質基準(案)
単位容積質量(kg/ℓ)	2.03	—
凝結時間(時間-分)	始発	—
	終結	1-10 (試験方法:JASS15 M-102)
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	8.4	6.0以上
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	材齢1日	—
	材齢7日	—
	材齢28日	57.9 20.0以上
付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	標準養生	2.6 1.0以上
	温冷繰り返し後	2.9 1.0以上
吸水量(g)	17.8	20.0以下
透水量(ml/hr)	0.08	0.5以下
長さ変化(%)	0.034	0.15以下
膨張収縮率(%)	+0.07	(試験方法:JSCE-F 533-1999)

※上記試験結果はJIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

日本化成プロダクト(株)中央研究所

# 施工法

## 下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃または高圧水洗浄をおこなってください。  
また、鉄筋が露出して発錆している場合は、スクレーパー、ワイヤブラシ、研磨紙等で錆を除去してください。  
\*浮き・はく落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。

## 下地処理 (吸水調整材塗布)

乾燥後、NSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。  
\*吸水の激しい下地の場合は、ドライアウトの原因となりますので、希釈倍率を厳守し、むらなく丁寧に塗布してください。  
\*鉄筋が露出している場合は、NSメンテペーストを刷毛で塗布してください。

## 練混ぜ

NSドカモルハードQ10kgに対し、水約1.5～1.7kgを加え、ハンドミキサー等でダマが残らないように十分に練り混ぜてください。  
\*加水量は1.6kgを目安にして、厚みを要する欠損部の補修には1.5kg、壁面や床面の面補修には1.7kgとし、規定水量内で調整してください。  
\*強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季20分以内、冬季40分以内に使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。

## 塗付け

こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、所定の厚さになるよう塗り付けてください。仕上材の種類によって、金こて押し、木こて押し、刷毛引き等をおこなってください。  
\*各部位の1回の許容塗付け厚さを超える場合には、数回に分けて塗り付けてください。その際の工程間隔は、夏季3時間以上、冬季6時間以上を目安としてください。  
\*壁で総塗付け厚さ25mm以上かつ0.3m<sup>2</sup>以上、または上げ裏施工の場合には、ステンレスアンカーピン・ステンレス線を併用してください。

●各部位の1回の許容塗付け厚さ

部位	許容塗付け厚さ	備考
欠損部補修	5～60mm	0.3m <sup>2</sup> 以下の面積
壁面塗り補修	5～15mm	3m <sup>2</sup> 以下の面積
床面塗り補修	5～40mm	3m <sup>2</sup> 以下の面積

## 養生

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生をおこなってください。  
\*強度が出ないおそれがあるため、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が激しい場合には、塗付け翌日以降に散水養生をおこなってください。  
\*初期の雨掛り等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生をおこなってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業をおこなってください。  
\*仕上材の素地ごしらえ等の次工程までの養生は、夏季6時間以上、冬季12時間以上おこなってください。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1102007
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>



## 使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問合わせダイヤル ☎ **0120-974237**

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。